



イカナゴ 〔玉筋魚〕

J a p a n e s e   s a n d   l a n c e

かつて瀬戸内海は公害で瀕死の状態に陥った。そこで特別法を制定し、瀬戸内海を再生させるため、リンや窒素などの排出削減に取り組んできた。その結果、海はキレイになりましたが、かつての豊かさを失いつつある。キレイになりすぎるのは想定外だったということ。栄養がしっかり循環していた時のイカナゴは腹が赤かった。理由は、豊かな海で育ったエビの仲間のプランクトンをたらふく食べていたから。

豊かな海を取り戻すための話し合いは始まったばかり…